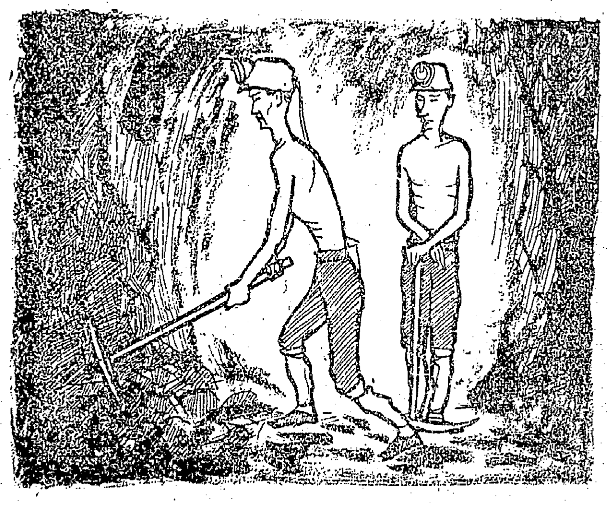
三鉱労組10年のアルバム

この貴重な体験を春斗へ活かせ

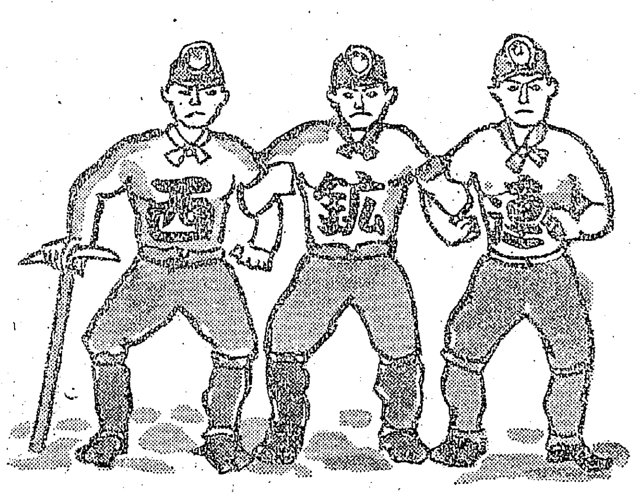


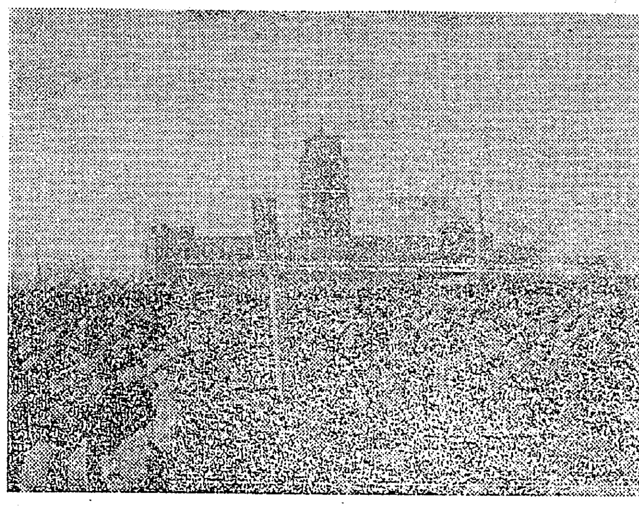
◇二十一年六月十二日　終戦後の食糧窮乏は炭鉱労務者特配米まで脅かさ県下の炭鉱労組が一体となり炭鉱特配食糧の確保を県知事に要求交渉した。

◇二十三年四月二十五日　印刷工場の設置を代議員会で決定した。全国労組にさきがけての英断が以後の組合活動に一大威力を発揮する結果となつた。

◇二十一年三月　組合歌とマークを募集、歌は「炭鉱は世紀の……」を選定しメーデー、企闘、決起大会等で高唱され、マークは組合旗を飾り先頭に輝つた。

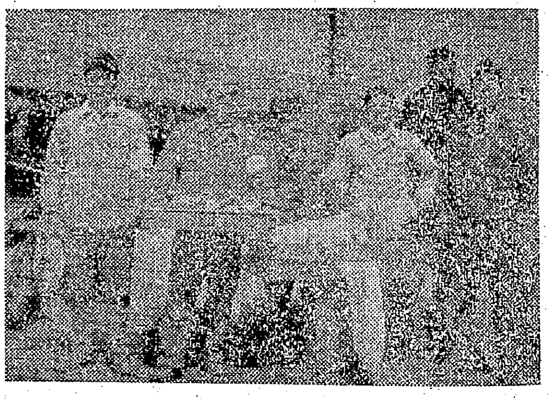
◇二十一年五月三十日　三池の第一回ストを契機として九州三山の結合が成つた。同時に五項目の要求を掲げ闘争に突入満足すべき条件を獲得して六月十五日解決をみた。



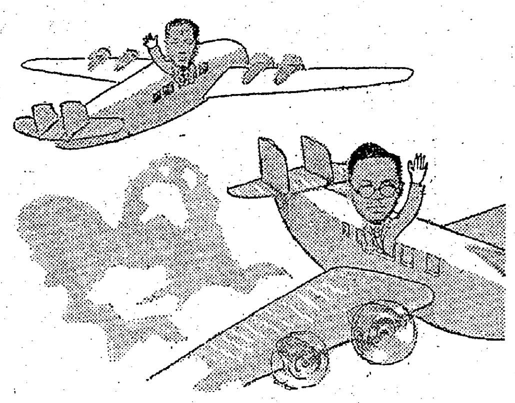


◇二十一年二月三日　延林公園で三鉱一本の労働組合を結成した。結成時の組合員数一万九千名　この日身分制度撤廃　倍増などの要求の下に第一回闘争を打ち出しいち早く闘う。

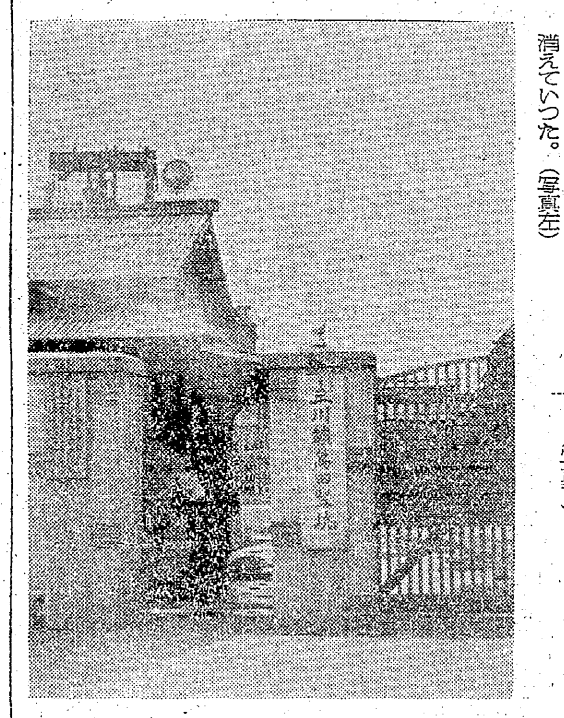
十年の写真を集録することになり、さて集めてみると最近のは多いが、結成時から二十五年ごろまでのが少いのには弱つた　特筆すべき闘争がありながら写真がない、あつても大したものはないという調子。勿論組合にカメラがなかつた故もありますが、それにアルバムを探せば……位に安易に考えてかかつた故もあります。編集が企画通りに行かず残念ですがお許しを願います。なお企闘写真は余りにも記憶も生々しいので説明は省略します



◇二十五年三月　大牟田駅前で呼売りする組合員。賃闘に突入し始めての長期ストに負けず行商で生活資金を稼いだ。

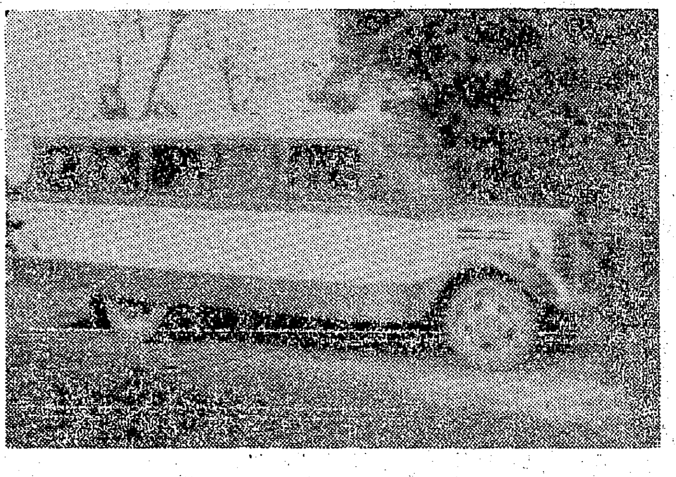


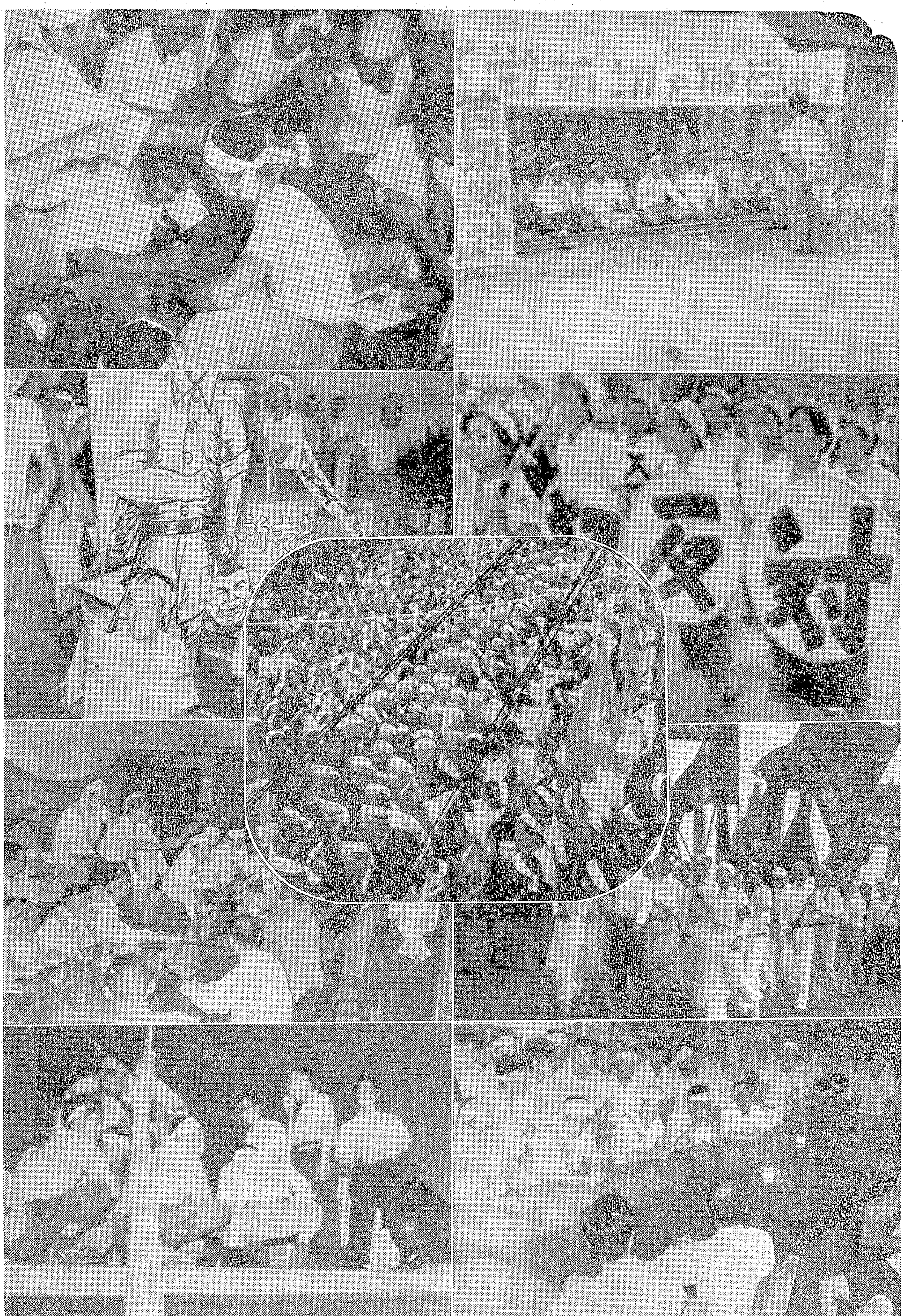
◇二十六年七月四日からイタリーのミラノで開かれた国際自由労連第二回世界大会に当時の阿具根組合長が出席。また二十九年九月フランス、イタリー総同盟の招聘で宮川組合長渡欧。

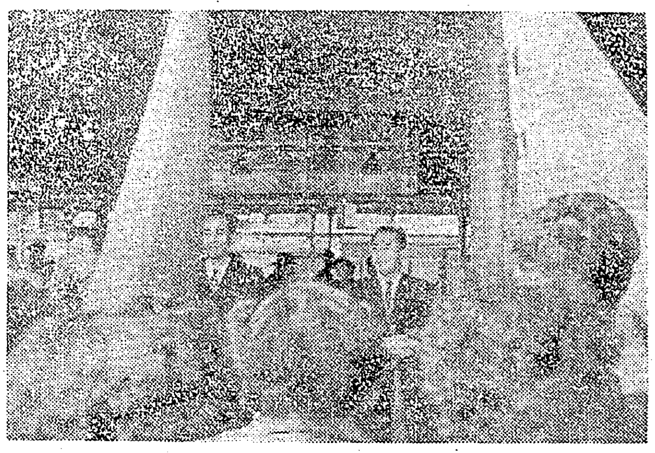


◇二十六年八月　万田坑、三川に合併、国語読本にも載り全国に知られていた同坑も消えていつた。（写真左）

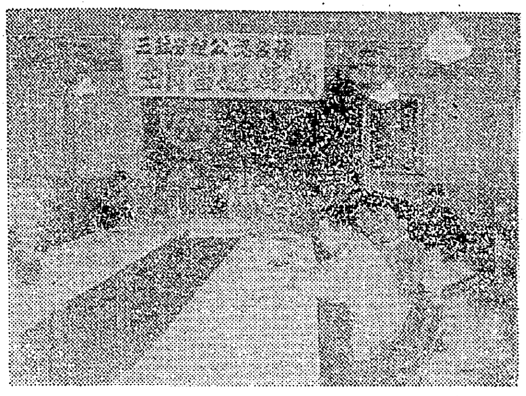
◇二十六年十二月十六日　待望のニュース・カー「はたかぜ」が出現教宣活動に新威力を発揮。（写真下）



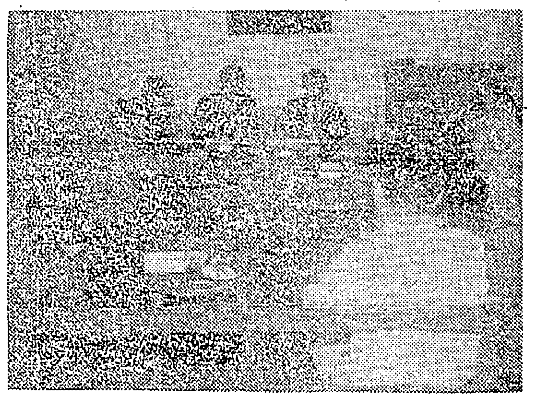




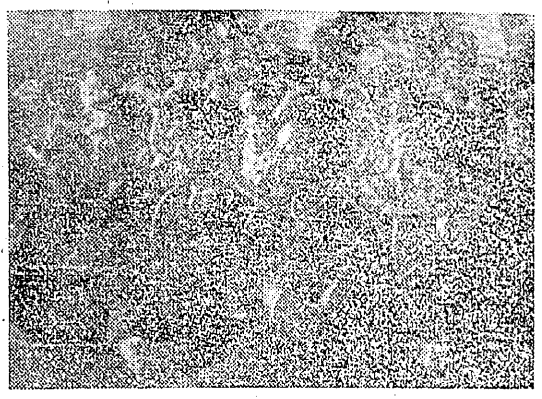
◇三十一年一月　岩井総評事務局長は春季賃闘オルグとして来牟　本部大会議室で歓迎昼食会を持ち　午後は労働会館で筑後地区共闘会議が開かれた。



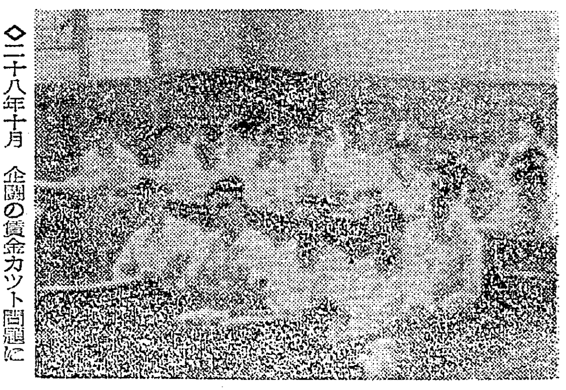
◇三十年四月　県議二名、市議十六名を当選させ、われわれの団結を誇るとともに保守派に鋭く対決を迫つた。



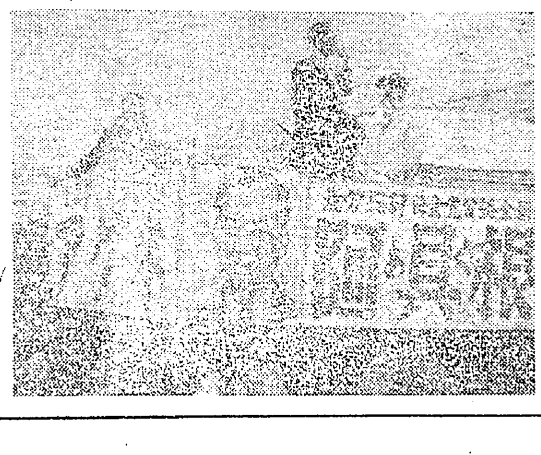
◇二十九年三月　諏訪川の水は俺たちのものだと絶叫して闘う農民を助けてついに労農提携共闘の実を結んだ。



◇二十八年十一月　組合役員改選に会社が介入し切崩策を行つた。この時森下売店長が暴行を受けたとして組合員十一名が検挙され四名が起訴された。

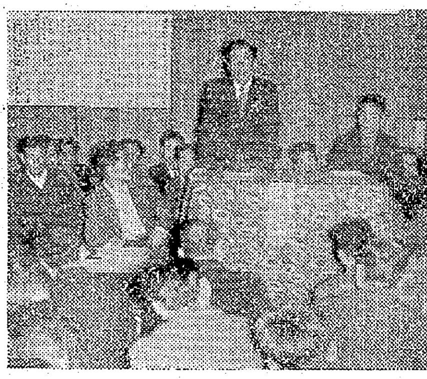


◇二十八年十月　企闘の賃金カット問題に端を発し、山の上で徹宵団交中会社の挑発と官権の不当介入によりデモ隊の中から検束者を出し五名が起訴された。

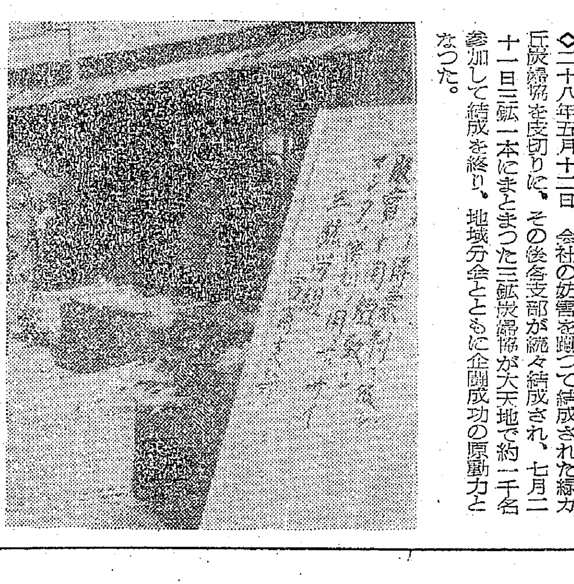


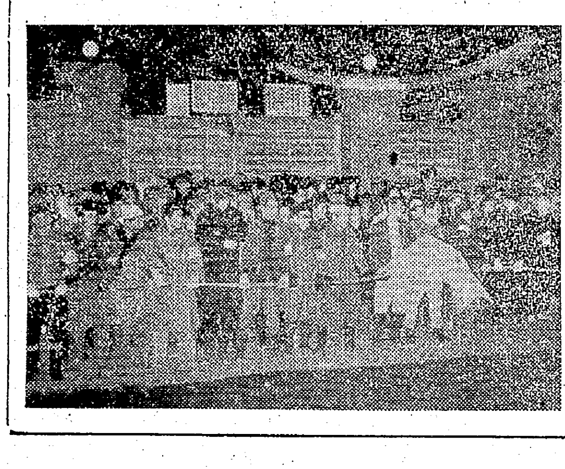
◇二十八年四月　参議員候補として全国区より出馬した阿具根氏は全国の労働者の支持を受けて堂々と当選した。

◇二十八年五月十二日　会社の妨害を蹴つて結成された緑ガ丘炭婦協を皮切りに、その後各支部が続々結成され、七月二十一日三鉱一本にまとまつた三鉱炭婦協が大天地で約一千名参加して結成を終り、地域分会とともに企闘成功の原動力となつた。



◇二十七年三月　臼井、宮原の地域分会を皮切に以後続々結成がすすみ地域の堅めは磐石となつた。





◇二十七年十二月　六十三日のスト中保安要員引上げのためはじめてピケを張る。（左）ストが深刻化し、このため伝票制の掛買を実施、生活対策に万全の構えを行つた。（右）